



見えないところが 格段に違います。

外は雪が降っているのに、室内では薄手のウェアを身につけ、

裸足でのびのびと軽快に暮らすことができる事――。

暖房機器の発達した現代なら、そんなに難しいことはないこのように思えるかもしれません。

しかし、これを実現するためには、家の構造や性能を格段に引き上げなければならないことを存知でしょうか。

従来の住宅でこのような生活をすれば、結婚によって家の寿命が大幅に損なわれたり、ぜんそくや

アレルギーなどの健康被害、最悪の場合は、地震で倒壊する危険性すら生じるのであります。

我々の特許技術で、日本の住宅性能を革命的に進化させたスモリの家「目に見えないヒミツ」をご紹介しましょう。

たとえば…

今までの先入観で家を選ぶのは
大変危険で、損なことです。

昔は冬になると、ストーブの上でやかんが
燃えても、火の粉が床や壁に飛散して落とした。
しかし、現在の技術が急速に進歩していく
た時代の家でこんなことをすると、たやすく「結露」が発生してしまいます。結露は土
台柱や梁から、家の寿命を大きく短めます。
さて、カタログを見ても、なぜ、これまでの健
康・快適な暮らしを実現するのか?

あるいは、家の中心でできる温度差が熱キャ
ハルや高齢者の心配を省く心配もありません。
部屋全体が暖かくして過ごすという現代の生
活様式が、きっと家族の健やかさに大きな影
響を与えていくのが現状なのです。

そのためには…

完成してからでは見えない部分を
しっかり見極ることが大切です。

ほんとの実家は、建築技術や安全基準が半端
性に問題はありません。しかし、10年・20年
と暮らす中で、はだだだだ寒くなったり、
土台や梁のなど見えないところが弱り出し、
地震で倒壊する危険性が高まっていることが
少くないのです。

これらは、外観や仕様など、完成してから
では見えなくなってしまう部分の作り方
が大切なことがあります。問題はどこにありますか?

何十年もかけて育んで来た実家を守るのが家
業です。見た目よりもむしろ、目に見えない部分
をしっかりとチェックすることがより一層大
切だとスモリは考へています。



銀我パネル
MITSUBISHI
THE MITSUBISHI GROUP
くまんぐみのうぶつ
くまんぐみのうぶつ

巨大地震にも余裕で耐える、「ハイテク真壁構造」。

最強のボディ「銀我パネル」。

長寿命な神社仏間に採用される「真壁構造」。

「真壁工法」は、古くから神社仏間に採用され、高い耐久性を発揮する工法として守られてきました。「銀我パネル」はこれを独自に進化させたもので、ゴムバネキの他のついご構法の間に構成用材をはさみ込む構法です。



ねばり強さも強さのポイント。

古来工法が、絶対で強度を出したいために「脚立(くつき)」を使うは、それがでて体力が弱くなりやすいは不適です。強さで比較すると「銀我」の「Ginko True Wall Construction」は、しかもゴムバネがほくらと力分散するため、ねばり強さも兼ね備え、強さ・持続の後も高機能を維持できます。



Q 一般的な断熱工法との違いは何ですか？

A 横浜開港場の外壁に打ち付けた場合、柱は合間に設置する必要があります。柱に過ぎません。筋がかかるは、打ちあわせを合わせてあります。断熱工法は、柱の中心に筋が組み込まれるため、外れる心配はほとんどないのです。

Q 一般的な断熱工法との違いは何ですか？

A 結局いざるは断熱材をスキ同様にするのは 断熱工法です。また、断熱材の外側をはさんで打ちあわせの外壁の断熱工法は、断熱材を長い筋で外壁を止めたら、不安定にならといった心配があります。



オール電化システムにピッタリ。

省エネ・オール電化。



優れた断熱・気密性を誇る「スマリの家」は、オール電化システムとの相性がピッタリ。

安全・クリーン・経済的な電化システムの採用で、一年中快適に、安心して暮らすことができます。

● 東北電力研究所で暖房をさを実証！

東北電力・研究開発センターの暖房試験室(610.7m²)において、暖かさと供給性能を検証する実験を行われました。暖房試験室内に実際のスマリの家を建て、様々な実験を実施。その結果、スマリの家の断熱効果が高く、優れた供給性能が証明されました。

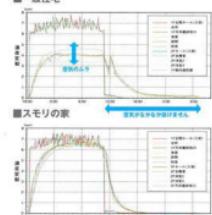
スマリの家は、一般住宅に比べ、建物のスキ間が7分の1の約3倍大きいのが解りました。

実験の建物内の温度変化を測定したところ、スマリの家は一般的実用的時間で、熱を逃がさなく保つことができました。グラフの温度変化を見ても外気温度の変化はほとんど影響されず、から天津まで温度がなく快速であることがわかります。

台所や居間など、家中のすべての場所がほぼ均一の換気状態。

一般的な家では、玄関や台所、居間など、場所により換気状態にバラつきることがあります。これに対しスマリの家は中央には同じ換気構造がされています。壁を斜め路線としで開けたり、お地の能力を持つ換気システムの採用などのが特徴です。

■ 一般住宅



Q 家の中と温度差があること、なぜ危険なのでしょう？

A 積極的に換気するところ、暖めの部屋の中でも冷やさないで換気するところ、上質な空間でゆったりくつろげる環境などを引き起こすことがあります。これをヒートシックといいます。蒸発などによっても危険なことです。将来安心して暮らすことができるよう、家の温度差をもつ分離しておくることが大切です。

Q 暖かい家といふことは、夏は暑いのですか？

A 夏は涼しいのが普通ですが、暖かい家のなかで家中が快適に換気すると、上質な空間でゆったりくつろげる環境などを引き起こすことがあります。これをヒートシックといいます。蒸発などによっても危険なことです。将来安心して暮らすことができるよう、家の温度差をもつ分離しておくることが大切です。

